

『ひがしくさんぽ』

「おやま界限 その1」

今回のひがしくさんぽでは、区内人口筆頭の託麻地域から、その東部に位置する小山地区界限にスポットを当ててさろき（散策し）ます。

まずは、託麻三山のひとつ、神園山対面の小山山中腹にたたずむ小山諏訪神社。創建1088年を誇るこの神社は、地域の氏神であることはもとより、近年では、託麻新四国八十八か所巡りのスタートゴール地点としても親しまれています。巡礼イベントが再開される日を心待ちにしています。



小山のまち中へ山を下り、県民運動公園方面へ歩いていると道沿いに新しい公民館が見えてきました。

この4月に落成した地域公民館です。木の優しい香りが漂う立派な公民館です。町内の横断幕や自治会ののぼりも立ててありました。きっとこの地域のみなさんが日ごろから仲良く力を合わせて活動されているのだらうと想像しながら運動公園方面へ向かいます。

陸上競技場の西側出入口に面した小山山登頂遊歩道の近くに…ありました！

ここが小山山の里山地区です。里山協議会や町内自治会、校区を超えた地元住民のみなさんが日ごろから定期的に維持管理を行い、自然と触れあいながら交流を深める拠点ともなっているそうです。

これまでに、ラグビーワールドカップ2019や全国都市緑化フェアなどの際にも、放置竹林を活用した手づくりの巨大ラグビーボールや、地域の子どもたちと協力した花苗の植栽など、「住民目線」での応援をされました。毎年恒例の「里山たの日」イベント開催も楽しみです(^^)

（「た」の日とは ⇒ 里山を・**た**がやそう・**た**のしく過ごそう
里山は・**た**めになる）

（次号につづく）



次回は・・・「おやま界限 その2」です

（託麻まちづくりセンター ☎380-8119）